

基本評価シート

様式

北海道 宗谷・稚内区域

(北海道宗谷総合振興局保健環境部環境生活課)

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	北海道指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画（ニホンジカ）		
	令和6年度（2024年度）エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務（宗谷・稚内区域）		
都道府県名	北海道	担当者部・係名	宗谷総合振興局保健環境部 環境生活課自然環境係
担当者名	高野 琴羽	担当者連絡先	0162-33-2922
捕獲実施事業者	（認定を受けている）	予算額（※2）	195,038,000円
		予算額の内捕獲に 要する経費（※3）	108,148,000円

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2 指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和6年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 (目標頭数などの数値目標)	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
35頭	59頭	169%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
73万頭※ (個体数指数：東部148、北部127、中部112、南部388)	東部：R8末に個体数指数50以下（H23を100） 北部・中部：R13末に個体数指数50以下（H23を100） 南部：R8末までに減少に転じさせる	設定していない
狩猟捕獲数	許可捕獲(有害)	許可捕獲(個体数調整)
35,232頭(R5)	61,491頭(R5)	58,803頭(R5)

※令和5年度推定生息頭数。東部（オホーツク、十勝、釧路、根室）、北部地域（空知、上川、留萌、宗谷）、中部地域（石狩、胆振、日高）の合計。南部地域（後志、渡島、檜山）は、これとは別に3~22万頭の間と推定

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

H9以降、道が策定した「エゾシカ保護管理計画」（H27以降「エゾシカ管理計画」）に基づき、狩猟期間の延長や可猟区域の拡大、雌ジカ捕獲制限の緩和、一斉捕獲の実施、モニタリングに基づく個体数指数を用いたフィードバック管理の推進等の対策を進めてきた。

2. 令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>第二種特定計画である「北海道エゾシカ管理計画」において、指定管理鳥獣捕獲等事業について「エゾシカによる生物多様性への影響や被害等が深刻又は懸念される地域においては、指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲を必要に応じて計画的に実施する」としている。</p> <p>これに基づき、鳥獣保護区や自然公園など、市町村等による捕獲が困難な地域でエゾシカの捕獲を実施する。</p> <p>【選択欄】</p> <p><input type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。</p> <p><input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。
実施期間	令和6年10月23日～令和7年3月27日(※委託期間)
実施区域	<p>宗谷・稚内区域(稚内市ヤムワッカナイ)</p> <p>当該地域は丘陵地帯に航空自衛隊稚内分屯基地と国有林がある。エゾシカの生息域だけでなく越冬地としても利用されており、自衛隊敷地外のノシャップ地域から西浜地区周辺でのエゾシカ出没による交通事故や家庭菜園の食害、被害地での被害が問題となっている。また、採食や踏みつけ攪乱による生態系への影響も懸念される。</p> <p>※1：実施区域の特徴も記入</p> <p>※2：事業計画の地図がある場合は、図面を添付</p>
関係機関との協力	<ul style="list-style-type: none"> ・林野庁北海道森林管理局：国有林内で実施する際の入林等手続き及び捕獲事業の情報共有を図る。 ・(地独)北海道立総合研究機構：捕獲手法や分析等の助言など効果的な事業実施に向けた連携を図る。 ・航空自衛隊稚内分屯基地：わなの設置や捕獲した個体を運搬する際の入門等手続き、及び捕獲場所近隣道の除雪、情報共有を図る。 ・地元市町村等：地域住民への連絡周知や地元関係機関との調整、捕獲事業の情報共有を図る。
事業の捕獲目標	<p>(169%達成)</p> <p>= (59実績値) / (35目標値)</p>
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input type="checkbox"/> 巻き狩り <input type="checkbox"/> 忍び猟</p> <p><input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p> <p>【わな猟】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> くくりわな <input type="checkbox"/> 箱わな <input type="checkbox"/> 囲いわな</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p> <p>※1：各種猟法の定義は〇ページ参照、※2：複数チェック可</p>
捕獲個体の確認方法	<p><input type="checkbox"/> 個体の身体の一部(耳、尾など)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 写真(証拠写真は、捕獲者・捕獲個体・捕獲情報を記載したホワイトボード等を撮影することとし、またGPS機能付きのカメラ(スマートフォンを含む)で撮影し、データも併せて添付する。)</p> <p><input type="checkbox"/> その他(捕獲現場にて立会)</p> <p>※複数チェック可。</p>
捕獲個体の処分	<p>捕獲個体の処分について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。</p> <p>※複数チェック可</p>
環境への影響への配慮	<p>わなによる錯誤捕獲について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。</p> <p><input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。</p>

	<p>わなによる錯誤捕獲の未然防止について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 (内容：複数の自動撮影カメラを使用し、錯誤捕獲があった場合には速やかに対応するようにした。)</p> <p><input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。</p>
	<p>鳥類の鉛中毒等について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。</p> <p><input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。</p>
	<p>鉛製銃弾について</p> <p><input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。</p> <p><input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。</p>
安全管理の体制	<p>捕獲実施にあたって、予め捕獲場所、実施期間、及び捕獲手法について、関係機関と開催した調整会議内で情報共有した。</p> <p>また、実際に現地にて状況確認。また、捕獲エリア周辺は許可なく立ち入りができない場所であるため、主に基地内の隊員に対して事業の周知を行った。</p> <p>捕獲事業の実施期間は、実施区域へ立ち入る際に腕章を着用し、捕獲事業者であることを明確にした上で実施した。</p>
捕獲従事者の体制	<p>【雇用体制】</p> <p>捕獲従事者数：14人 (内訳)</p> <p>正規雇用者： 人、期間雇用者： 人 日当制：人</p>

3. 令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点※	
【目標達成】	<p>評価：今年度は、昨年度のように誘引と捕獲開始を同時期に進めるのではなく、誘引のみの期間をとり、捕獲を実施した。また、誘引餌を樹木に吊すことで、くくりわなが設置されている足下への注意力が薄れるよう工夫を行った。誘引餌の設置工夫や昨年度実施時のデータを生かし、的確にな場所にわなを設置できたことで捕獲効率を高めることができた。</p> <p>改善点：くくりわなの設置方法について、樹木に吊した誘引餌の下などに設置したことで一定の効果が得られたと考えられる。しかし、今回は実施しなかったが、設置した付近の足下に障害物等を置き、わな設置箇所へ誘導することにより更に捕獲効率が高められると予想できる。</p>
【実施期間】	<p>評価：前年度は事業の開始が遅れ、誘引期間を設けることができなかったが、事業開始時期を早めることにより誘引期間や捕獲期間を十分に確保し、効果的な捕獲を実施することができた。</p> <p>改善点：過年度の事業実施結果から、当該地域では1月～2月頃がエゾシカの生息密度が高いことが確認できる。また、自動撮影カメラにより2月下旬～3月にかけては林内のエゾシカが移動し減っていることが確認された。このことから、生息密度が高くなる1月～2月に集中的に捕獲を実施することが効果的だと考えられる。</p>

【実施区域】	<p>評価：過年度に引き続き、航空自衛隊稚内分屯基地に隣接する国有林内である宗谷・稚内区域で捕獲事業を実施した。現地調査の結果、大量の糞や樹木に角を擦った跡が確認できたほか、冬季は越冬地として利用されているため、わな設置後は継続的に捕獲をすることができた。このことから、捕獲区域として適切であったと考える。</p> <p>改善点：当該地域で事業を実施するのは2回目となるが、実施後も多くのシカが確認されている。雪が溶け始めると、林内のシカが移動することが分かっているが移動場所が明らかになっていない。移動状況を把握し、当該区域及び周辺地域で効果的な捕獲を行う必要があると考えられる。</p>
【捕獲手法】	<p>評価：当該区域は、地形や周囲の環境により銃猟及び囲いわなが困難なため、今年度も引き続きくくりわなによる捕獲を実施した。また、昨年度は実施市町村の従事者が少なく、限られた人員でローテーションを組み、見回りを行わなければいけないことが大きな課題となったことから、今年度は ICT を活用した監視体制による捕獲作業の省力化を目指した。くくりわなについても、人員が限られている中で凍結等により頻繁なメンテナンスが必要になることから、昨年の約 50 基設置の半数を下回る約 20 基での実施とした。わなの基数は減らしたが、誘引期間を十分にとったことや昨年度の実績やデータからシカ道に対して効果的にわなを設置できたことが、効果的に捕獲を実施できた要因と考えられる。</p> <p>改善点：ICTによる捕獲作業の効率化を目指したが、実施地域のエゾシカは非常に人慣れしており捕獲実施中も警戒心が薄く、ほぼ毎日捕獲する結果となったため省力化はできなかった。</p>
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	<p>評価：昨年度に実施した本事業と同様に、現場をよく知る北海道猟友会稚内支部と、調査やデータの取りまとめ及び結果の考察等等を得意とする株式会社構研エンジニアリングとがコンソーシアムを構成して受託したことから、十分な体制であったと考える。</p> <p>改善点：今後もコンソーシアムによる事業実施となる場合には、コンソーシアム構成員間の連絡調整体制を確実に構築させる必要がある。</p>
【個体処分】	<p>評価：広大な国有林内で、除雪も可能な場所を選定したことで、運搬も容易に行うことができた。</p> <p>改善点：捕獲手法等により食肉への有効活用が難しいことから、全て処分せざるを得なかった。</p>
【環境配慮】	<p>評価：国有林内での実施ということで、他の鳥獣や環境に最大限影響の少ないよう配慮を行いながら実施した。</p> <p>改善点：当該区域では、同様の配慮を継続する必要がある。</p>
【安全管理】	<p>評価：一般住民は立ち入れない場所であるが、基地内の自衛隊員への事前周知、現地入口等での注意看板設置を行うことで安全管理体制を確保した。</p> <p>改善点：新たな捕獲手法を導入する場合は、適宜新たに適切な安全管理体制を構築する必要がある。</p>

3. その他の事項に関する評価及び改善点

4. 全体評価

目標頭数 35 頭に対して捕獲数が 59 頭と、目標を大幅に超える結果となった。昨年度の反省を踏まえ、事業実施時期を早め、適切な時期に捕獲を実施できたや誘引餌を玉ねぎネットに入れ、誘引をより効果的に行ったことが良好な結果を生んだ何よりの要因だと考える。

また、ICT によるくくりわなの見回りの省力化や効率化を目標としていたが、実施区域のシカは非常に警戒心が薄く連続で捕獲される結果となり、期待していた効果はあまり得られなかった。しかし、当該区域のシカがこれほどまでに人に対しての警戒心が薄いということが確認できたのは、一つの成果とも捉えられる。

前年度に引き続き、関係機関が一体となりエゾシカの対策について協力、検討できた実績は今後の当該地域の捕獲を推進する上での成果であると評価する。

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

事業を実施した当該区域は自衛隊に隣接した国有林内という条件により、これまで市町村の許可捕獲（有害駆除）等が実施されていない状況であった。事業実施により、捕獲困窮地で個体数を減少させ、シカにより農林被害や経済被害等を押さえるといった点で寄与したものとする。しかし、未だ高い生息数が確認されているため、関係機関との連携や、効率的な捕獲手法の確立により効率的なエゾシカ対策の推進を検討していきたい。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input checked="" type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input checked="" type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報	

	()	
③目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 (わな稼働日数=わな基数×稼働日数)	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

項目	作成できる概況図(地図)※についてチェック
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点(緯度経度)地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUEの地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点(緯度経度)地図 <input type="checkbox"/> CPUEの地図を作成できない
SPUEの地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点(緯度経度)地図 <input type="checkbox"/> SPUEの地図を作成できない
概況図を作成する上での課題	特になし

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果(必須となる記録項目)

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数※1： _____ 人日

事前調査人日数概数※2： _____ 人日

出猟(捕獲作業)人日数： _____ 人日

項目	令和6年度 (事業年度の値)	令和5年度 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量(銃猟) のべ人日数	_____ 人日	_____ 人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟(捕獲作業)日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数※1： _____ 145 人日

事前調査人日数概数※2： _____ 10 人日

出猟(捕獲作業)人日数： _____ 135 人日

項目	令和6年度 (事業年度の値)	令和5年度 (前年度の値)	増減の傾向

捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日数）	860 基日	2,115 基日	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
-------------------------------	--------	----------	--

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和6年度 (事業年度の値)	令和5年度 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②目撃数	頭	頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（銃器）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数 ^{※1}	CPUE ^{※2}	SPUE ^{※3}
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 巻き狩り	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/のべ人日数

※3:SPUE=目撃数/のべ人日数

※CPUE、SPUEは前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

項目	令和6年度 (事業年度の値)	令和5年度 (前年度の値)	増減の傾向
----	-------------------	------------------	-------

①捕獲数	59 頭	35 頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	0.80	0.86	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	0.20	0.14	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数※1	CPUE※2
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	59 頭	860 基日	0.069 頭/基日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 箱わな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	頭	基日	0.60 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘因期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数：人・時間

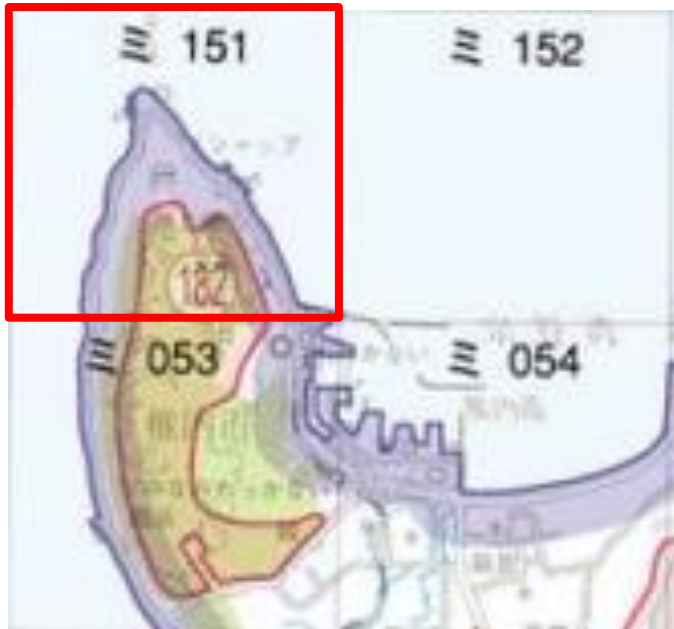
処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数：0 個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

実施日時を作業日報に記載するとともに、捕獲個体毎に捕獲個体記録票を作成し、生体で捕獲した個体については、捕獲頭数がわかるように捕獲時の全景に、捕獲情報を記載したホワイトボード等を含めて撮影した写真を添付することとしている。

捕獲した個体の処理については、発注段階から受入予定先を明記し、受託者が有効活用事業者と調整しながら捕獲事業を実施することとしており、納入結果についても報告させている。

基本評価シート4（1）イ）に付随する概略図
（宗谷・稚内地域）



【メッシュ番号】ミ 151
わな猟（くくりわな）
捕獲数 59頭
CPUE 0.069頭/人日

※ 地図データは令和6年度（2024年度）北海道鳥獣保護区等位置図（地図編）を使用。